

2022. 03. 25

地域の元気応援プロジェクト審査会

事業申請
小原の憩いの場づくり
「小屋のデザインプロジェクト」

【教員】

田中貴宏

(広島大学大学院先進理工系科学研究科)

事業の実施体制

地域

- NPO法人ぷらっとほーむ小原
(代表:明木一悦)

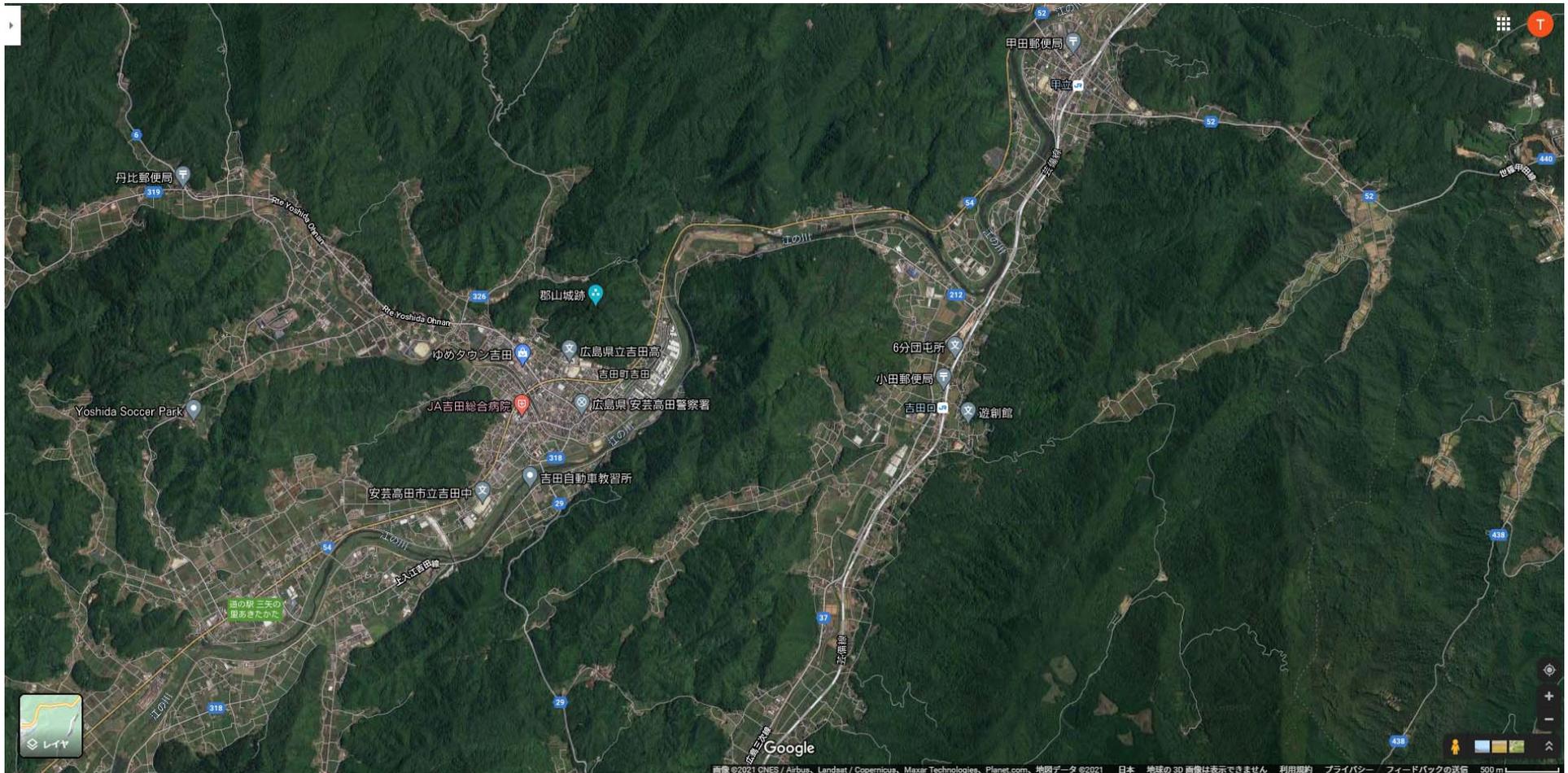
学生

- 先進理工系科学研究科 都市・建築計画学研究室 学生有志グループ(代表:城本大暉)

教員

- 田中貴宏(先進理工系科学研究科)

対象地(JR吉田口駅)



対象地(JR吉田口駅)



対象地(JR吉田口駅)



Google Street View

経緯

平成30年度「広島大学地域連携推進事業」



経緯

平成30年度「広島大学地域連携推進事業」



「憩いの場」の必要性

プロジェクトの背景

- 現在、中山間地域は、人口減少・高齢化等が進むと同時に、人々が日常的に集う場が減少。
- 地域活力の低下や、関係人口の減少など。
- 安芸高田市小原地域でも、地域の人々や、地域外から来訪する人々が気軽に集うことのできる「憩いの場」が求められている。

事業の目的

- **対象地:**
地域の中心地であるJR芸備線吉田口駅周辺
- **目的:**
「憩いの場」の創出
- **具体的には・・・**
都市・建築計画を専門とする学生がその専門能力を活かし、「小屋」をデザインし、また地域の方々と協力し、施工する。



「憩いの場」のシンボルの試作

プロジェクトの主な流れ

- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

プロジェクトの主な流れ

- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

現地視察(10月3日)



ぶらっとほ一む小原拠点にてレクチャー

現地視察(10月3日)



敷地候補地の調査

現地視察(10月3日)



周辺環境の調査

現地視察(10月3日)



集合写真

プロジェクトの主な流れ

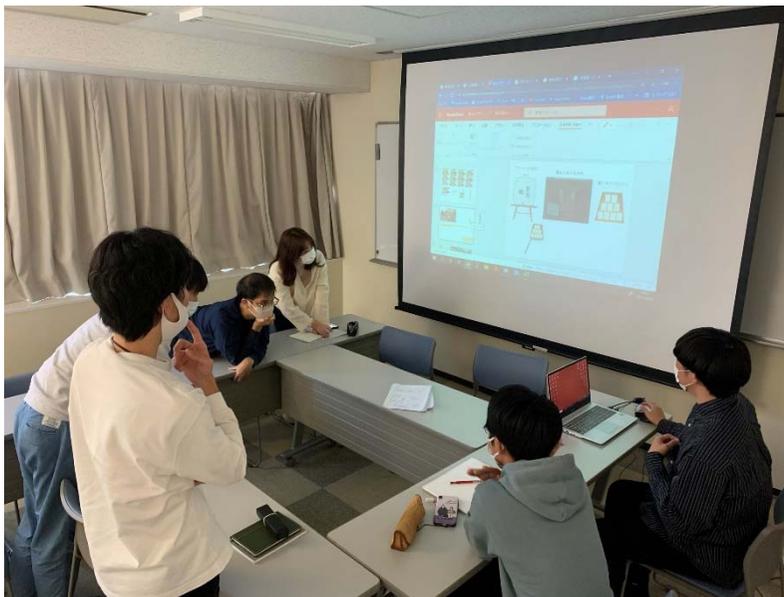
- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

事例視察(10月10日)



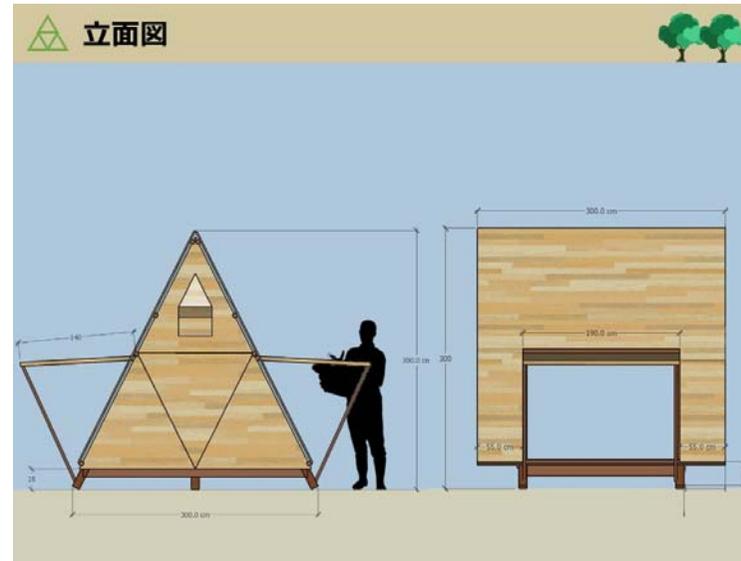
竹原駅周辺

デザイン案の検討(10月4日~29日)



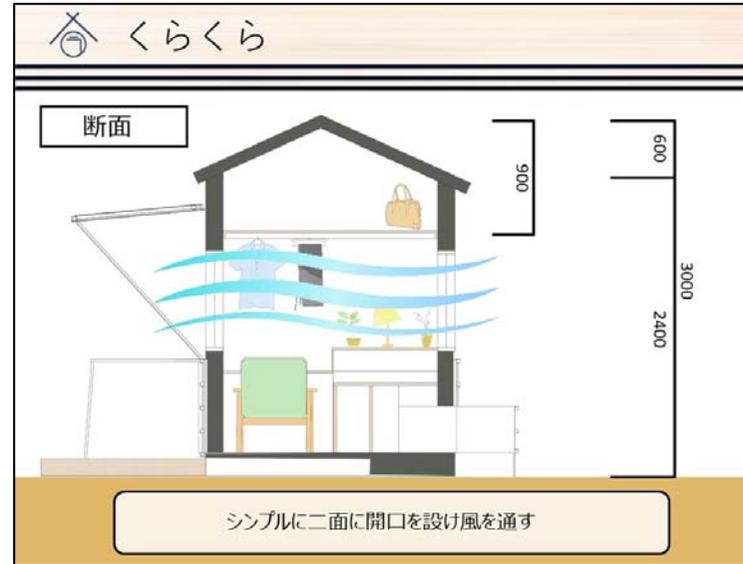
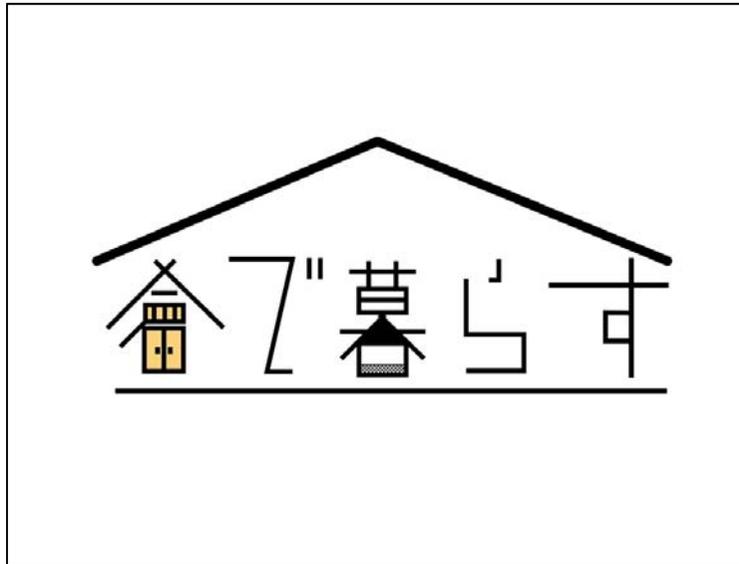
デザイン案(1)

A KIT



デザイン案(2)

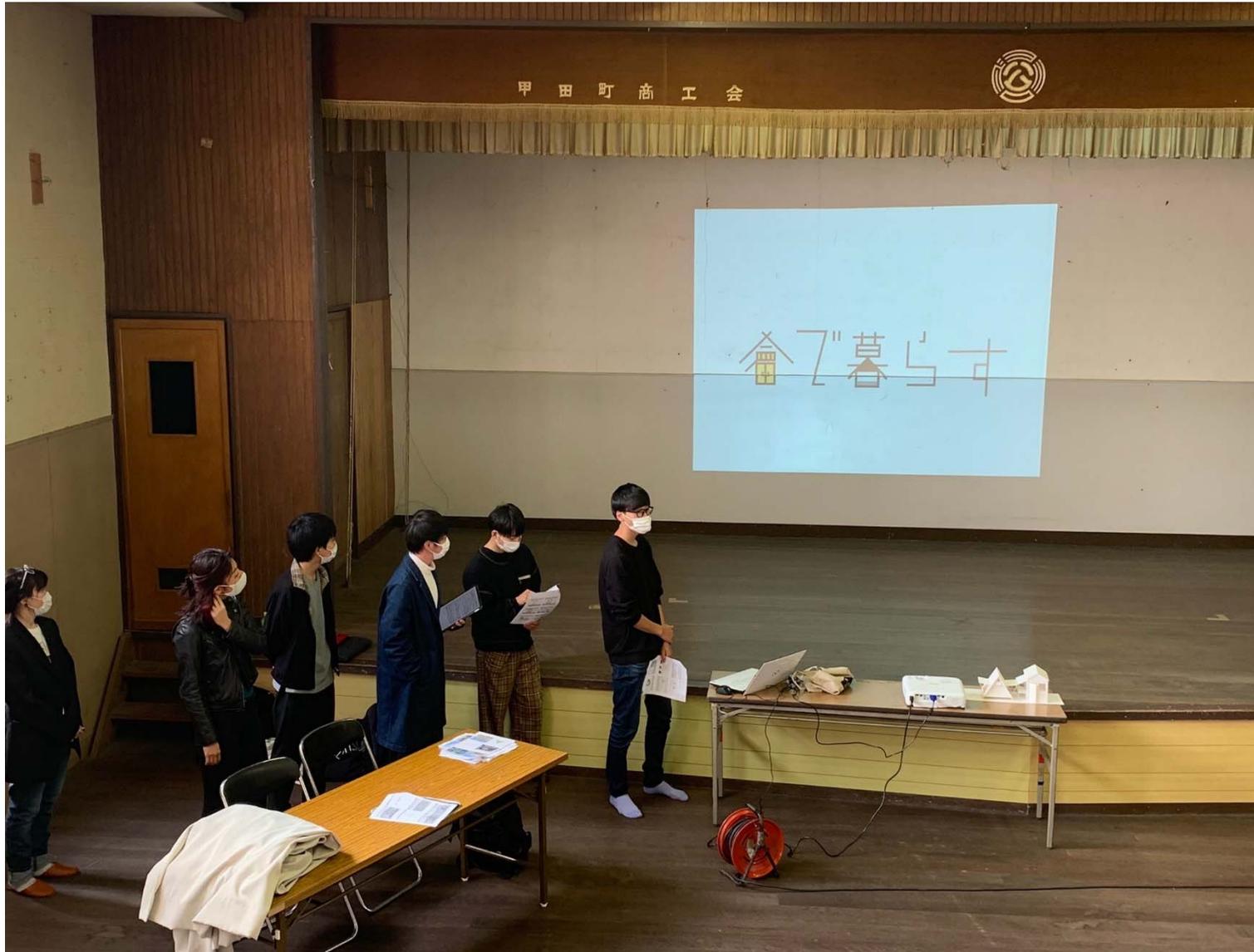
くらくら



プロジェクトの主な流れ

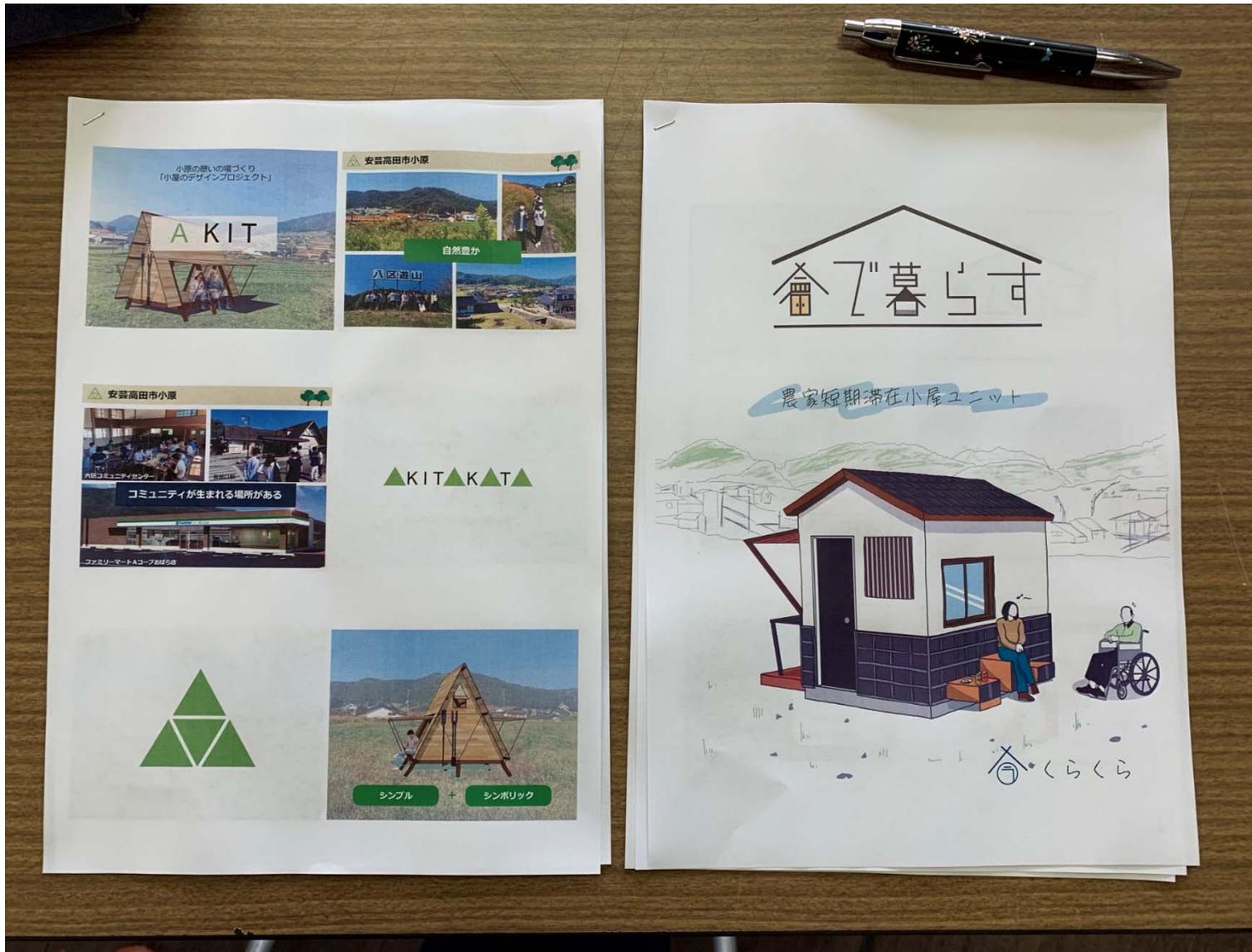
- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

小屋のデザイン案発表会(10月3日)



発表の様子

小屋のデザイン案発表会(10月3日)



小屋のデザイン案発表会(10月3日)



作成した模型(2案)

小屋のデザイン案発表会(10月3日)



模型を囲んだ議論

小屋のデザイン案発表会(10月3日)



IPadを使って詳細説明

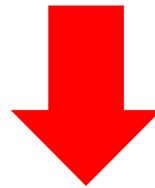
小屋のデザイン案発表会(10月3日)



集合写真

小屋のデザイン案発表会(10月3日)

2案から絞り込めず・・・



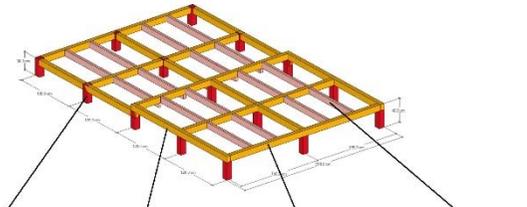
2案とも実現することも視野に、
詳細設計・コスト検討を行うことに・・・

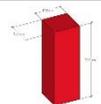
プロジェクトの主な流れ

- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

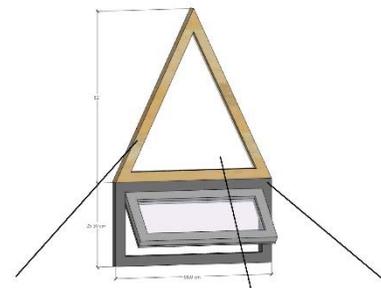
詳細設計、必要部材決定、コスト調整 (11月1日~12月28日)

基礎



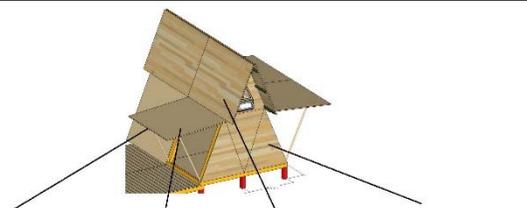
1	2	3	4
			
(100×100)×300or500mm Or (150×150)×300or500mm	100×75×2400mm	100×75×3000mm	100×50×975mm
9 (+デッキ用: 6)	3 (+デッキ用: 3)	3 (+デッキ用: 3)	8 (+デッキ用: 8)

窓部

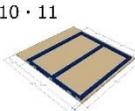


22	23	24
木製枠組み	アクリル樹脂or塩ビ樹脂	窓 (既製品)
		
52×50×10mm	52×50×10mm	(250or300)×500×15mm
2	2	2

壁材・屋根材



裏側補強材

10・11	12	13	14
			
10.50×50×1400mm 11.50×50×1600mm (鉄骨なら50×35)	1800×1700×20mm	1510×2050×20mm	2400×2940×20mm
10. 4 11. 6	4	4	2

部材番号	寸法 (W×H×L or W×L×T)	部材数
1	(100×100)×300or500mm or (150×150)×300or500mm	9 (+デッキ用: 6)
2	100×75×2400mm	3 (+デッキ用: 3)
3	100×75×3000mm	3 (+デッキ用: 3)
4	100×50×975mm	8 (+デッキ用: 8)
5	100×75×3100mm	8
6	100×50×1555mm	4
7	100×50×1000mm	2
8	50×50×4120mm	6
9	100×75×3000mm	2
10	50×50 (or35×35) ×1400mm	4
11	50×50 (or35×35) ×1600mm	6

詳細設計、必要部材決定、コスト調整 (11月1日~12月28日)

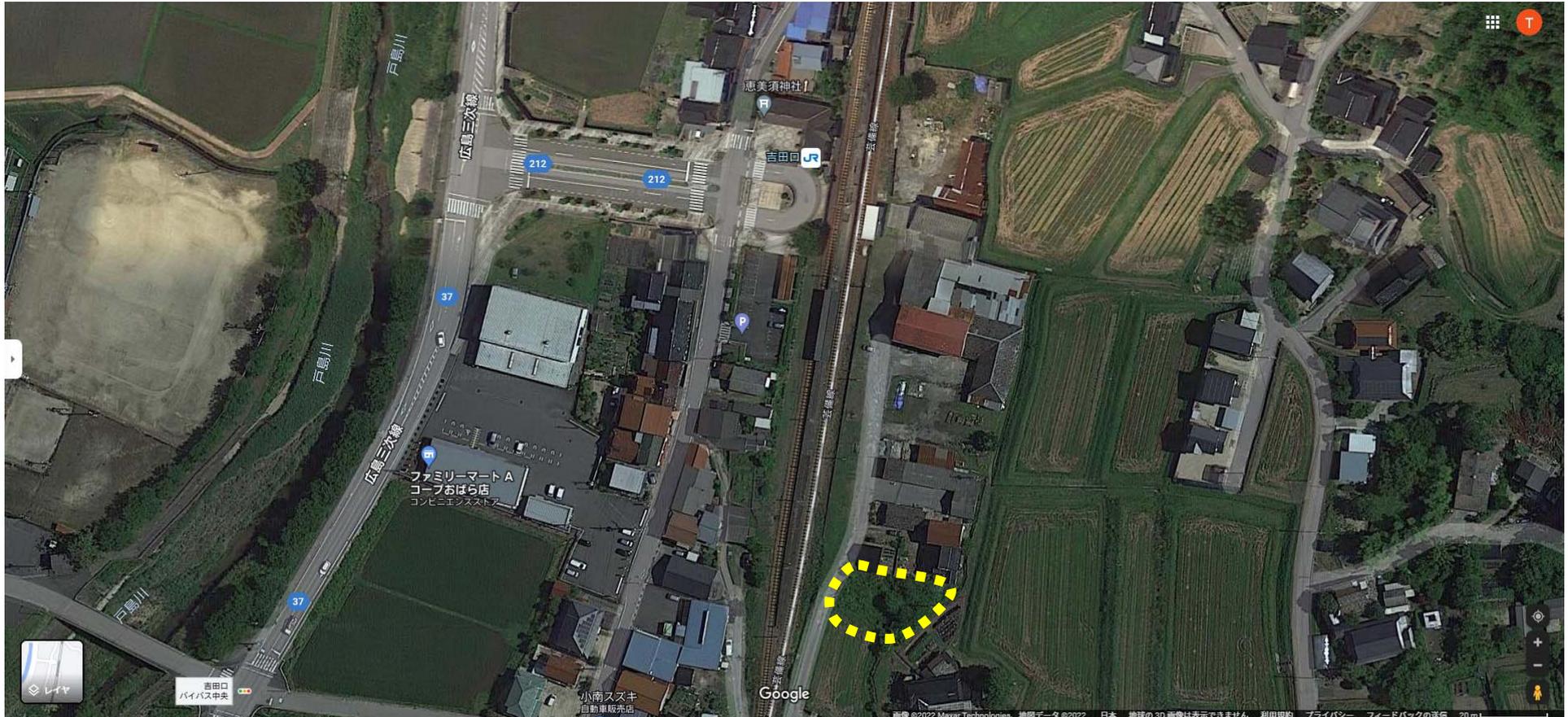
検討の流れ

- 
- ウッドショックの影響で、木材価格が高騰。
 - 両案ともに予算オーバー。
 - 設計の見直し。
 - それでも2案の実現は困難と判断。
 - デザイン案(1)を採用。

プロジェクトの主な流れ

- ① 現地視察
- ② 小屋のデザイン案作成
- ③ 小屋のデザイン案発表会
- ④ 詳細設計、必要部材決定、コスト調整
- ⑤ 敷地の決定、部材発注の打ち合わせ
→ 現地での「憩いの場」の小屋整備

敷地の決定(1月5日)



敷地の決定(1月5日)



草刈り後



基礎



部材



部材



両者のメリット

- **(地域)「憩いの場」の創出**
→本プロジェクトによりつくられる小屋のデザインをきっかけに、次年度以降の「憩いの場」創出に向けた取り組みに活かされる。
- **(学術)「憩いの場」創出に向けた知見蓄積**
→「憩いの場」づくりは、全国で課題とされている。本プロジェクト成果は、広く都市計画・まちづくり分野に紹介される。

今後の展開

- 小屋の整備(継続)
- 「憩いの場」づくりの活動